

# 18年度の町の事業 議員が総点検

## 行政改革

**問** ビューパーク運営費について経費削減の工夫はしたのか。

**社会教育課長** 点検回数を見直し、見積もり業者の数を増やすなどした。これにより委託料が削減された。

**問** 駅の大型ディスプレイに年間100万円以上の委託料は高すぎないか。

**秘書広報課長** 高いと認識しており、再三にわたり価格交渉をしている。



## 教育

**問** 18年度より実施された、特別支援教育(よつば学級)の効果は。

**学校教育課主幹** 少人数指導によりコミュニケーション等も図られた。これにより、通常学級でも安定した気持ちで授業を受けられるようになるなど、効果は大きい。

**問** 社会教育委員会の会議では、青少年の健全育成を目指した会議が開かれているが、具現化したものはあるか。

**社会教育課長** 子ども会を地域で支えることが大切との提言が示され、各種団体をお願いをしているところである。

## 防災

**問** 防災訓練がマンネリ化しているとの声もあるが。

**地域振興課課長補佐** 20年度には、新しい内容を取り入れた訓練を実施していきたい。

## 産業・観光

**問** 18年度で終了した住宅リフォーム助成のこれまでの効果は。

**産業振興課長** 5年間で工事高が6億2,900万円となった。

**問** 観光事業への改善は図られたのか。

**産業振興課長** 観光パンフレットに毎回同じ写真が掲載されているなどの指摘もあった。今後改善策を考えていきたい。

**問** 農地と担い手マッチング事業補助金の成果は。

**産業振興課長** 1カ所の農園で、14区画中12組の方が契約。楽しく農業体験できたとの感想があった。



## まちづくり

**問** 元狭山コミュニティーセンターの利用率が低いのか。

**地域振興課長** 検討委員会でも議題となった。現在、PR等検討中。

**問** あすなる児童館前など3路線の側溝蓋かけ改修工事を行ったが効果は。

**建設課長** 民有地を買収することなく、歩道として有効に使用できるため、今後も進めたい。



## 生活環境

**問** 18年度は対前年比でごみの焼却が増えているが、内容と原因は。

**生活環境課課長補佐** 一般家庭ごみ108トン、事業系ごみ399トンの増。原因は、資源ごみである雑紙等が混入していた。

## 税収対策

**問** 収入に占める固定資産税の割合が高いが、他市町村との比較は。

**税務課長** 都市計画税と合わせて約31%。多摩地域で1位。

**問** 町税の不納欠損が減ったが。

**税務課課長補佐** 都の支援を受けて、直接徴収を進めた。また催告書の文面を厳しい内容に変えた。

## 福祉・健康

**問** 乳がん検診の受診は40歳以上だが、対象年齢引き下げは検討したのか。

**保健課長** 国のがん検診指針に基づく基準で行っている。

**問** 保育園、学童入所に対して選考基準によらないものがあったか。

**福祉課課長補佐** そうしたケースはない。

**問** 障害者自立支援法が稼動したが、影響や課題は。

**福祉課長** 障害者本人からは、1割負担になったことでの苦情があった。また、事業者からは、経営面などの相談が寄せられた。

**問** 敬老会に参加できなかった方への記念品を検討したか。

**高齢者福祉課長** あくまでも参加賞と考えている。